

# 平成最後の祝成人

竜丘耆道クラブ

去る一月十三日、暖かい日差しの中、五十三名の新成人を迎え平成最後の竜丘地区成人式が、開催されました。



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

|            |        |
|------------|--------|
| 人口         | 6,839人 |
| 男子         | 3,354人 |
| 女子         | 3,485人 |
| 世帯数        | 2,561戸 |
| (31年1月末現在) |        |



## 祝竜丘地区成人式

### 新成人の抱負

宮下美咲輝さん

(長野原)

新成人となり大人の仲間入りをしました。大人としての自覚を持ち、自分の言動に責任を持ち生活していきたいです。また、自分の意見を持ち人に伝え、自ら積極的に行動できる人になりたいです。今まで自分の意見を伝えたり自ら行動することがなかなかありませんでした。大人として自覚や責任を持ち生活するために自分の意見をしっかりと持ち人に伝え積極的に行動していきたいです。

私は学生生活が続きます。自分の夢を叶えるために日々勉強に励み支えてくれる人に恩返ししたいです。常に前を向いて諦めず何事にも挑戦し続けていきたいです。

原 弥嘉さん

(桐林)

私は今回、保育園から高校まで一緒に幼馴染の淵田君の誘いで成人式の実行委

当日は、会場入口の看板の前で記念写真を撮ったり、旧友たちとの再会をお互いに喜び合っていました。又、受付で小学校時代に「二十歳の自分へ」と授業で書いた手紙が手渡され、「こんな事書いたんだ」などと昔をなつかしんでいました。記念式典は、三部構成で行われました。

第一部では、張りつめた雰囲気が少しのハプニングで会場が和みスタートしました。来賓の方から「人は失敗をする。しかし、その経験が必要です。それが成功の元となり、人格作りの礎になっていく」と言葉が送られました。新成人を代

表して下平剛さんが、「決して臆する事なく、人生に立ち向かいたい」と決意を語りました。

第二部では、実行委員五名を中心に企画、構成した恩師のビデオレターが上映され、先生方の昔話で、会場が笑いの渦に巻き込まれました。

第三部では、地元有志の皆さんによる手料理で、祝賀会が行われました。



淵田 直人さん

(桐林)

「ロマン溢れる学びの丘竜丘に八十三名の新成人の大人の仲間入りを祝う式典が、地域の方々の御協力で盛大に開催できた事は、新成人の皆さんの心に残ってくれるでしょう。」

成人を迎え、自分を変えていくという意識がとても強くなりました。自分が今本当にやりたいことを考え、その事に対して正直に向き合っていきたいと思っています。今、サッカーのコーチをしたり、人との関わりを増やしています。その中での発見や他の人の考えを取り入れながら自分も成長していきたいと思っています。

「ちゃんとお金を稼ぎ、それなりの人望も得つつ、生きる。」

牧内 摩汀さん

(長野原)

私は、今年の四月から社会人になります。今とは違った環境になるため、不安ですが早く早く仕事を覚え職場で活躍できるよう頑張りたいです。また、私は竜丘のママさんバレーでスポーツを楽しんでいます。このように地域の方々の関わりを大切にしながら趣味や興味を持ったことに積極的に挑戦していきたいです。



(実行委員)左から淵田さん、宮下さん、宮井さん、牧内さん、原さん

宮井さくらさん

(桐林)

成人を迎えて、堂々とお酒を飲めるようになり嬉しい限りです(笑)。

抱負と言われてもバツと思いつきません。私はその時その時を全力で、楽しく、自分らしく生きていければいいなと思っています。

今こうして成人を迎えられたのも、両親が大切に育ててくれたからです。好き勝手に遊んだり、自分のやりたい事をやらせてもらっているのも両親が否定せずに見守ってくれているからです。そんな両親を大切にしたい、沢山親孝行をしていきたいです。

最近のニュースで取り上げられて事件の一つに児童虐待があります。親のしつけと称して、暴言暴力といった行き過ぎた行動が多くなっています。本来、子ども達を守るべき保護者や教師などの大人が現実に対応できていない面、大いに反省しなければいけません。そして学校、家庭、児童相談所、地域、自治体共、丁寧な対応を求めたいものです。

もう一つは自動車の乗り換えの問題で、これこそ他人事でなく、日常の運転マナー常識を疑う行動です。運転時は心理的に焦っているスピードを出し過ぎたり、イライラを抑え切れず、一時的な怒りから、あおり運転に発展してしまうのではないのでしょうか。そんな時こそ深呼吸して、冷静に自分を客観視出来るドライブレコーダーの装着で我に反る事が出来れば効果があると思います。運転する心がまえとして、常にゆずりあいの意識でハンドルを握りたいものです。

話は変わりますが、競泳池江璃花子選手の白血病告白はとても衝撃でした。全てのアスリート達は常に自分の体と向き合っているトレニングで追い込んでいます。まさに自分との闘いです。この白血病も必ず克服できると信じています。池江選手の常に前向きな言葉は全ての人の勇気を与えてくれています。その広がりには多くの白血病の経験者からも応援のエールが送られてもいます。最後に日常の中で、病気がゆつくりと進行しているかもしれない。早期発見が重要です。体調不良を疲れのせい？にせず、検査を受けてみましょう。

ヤフー

# 歓声・静寂 冬でも熱く盛り上がり 冬期スポーツフェスティバル



十二月九日(日) 竜丘の冬季スポーツフェスティバルが開催されました。竜丘小学校の体育館での開催の後、全員で準備体操を行いました。



ふらばーるバレーでは、各地区チーム共に、素晴らしいチームワークで熱戦を繰り広げました。同じ地区の方や子供たちなど、コートの外側からの大きな応援に後押しされたお父さんお母さんが張り切っていました。囲碁ボールでは、各ブロックごと接戦を繰り広げ、笑



い声あり、駆け引きありで和気あいあいと楽しく競技ができました。時折、四目、五目と揃う大きな声が上がっていました。

| ワンバンド<br>ふらばーるバレー |      | 囲碁ボール     |           |           | スポーツ<br>吹き矢 |
|-------------------|------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 男子の部              | 女子の部 | A<br>ブロック | B<br>ブロック | C<br>ブロック | 駄科          |
| 桐林                | 駄科   | 時又        | 駄科        | 時又        |             |



私たちが「男の料理教室」を開催いたしました。旭松食品様から商品の提供を頂き、食改の現・元役員の皆様と共に楽しい料理教室となりました。想えば十年前、平成二十年目に入り

## 男の料理教室 10周年!

地元企業応援の  
記念講座開催

性への参加」の名のもとに第一回「男の料理教室」が開かれました。最初は食改の企画運営として行われましたが、三回目頃には集まった会員が「自主的運営をしないといずれは教室が



足しました。翌年四月には竜丘公民館サークルとして登録され、現在まで十年続いています。同時期に飯田市各地で同様の料理教室が立ち上がりましたが、現在まで続いているのは、竜丘地区のみと聞いております。

## 特集 竜丘の文化遺産 自由画



No.30 凧あげ

今回は当時が偲ばれる画を選んでみました。稲刈りの済んだ田んぼは子ども達の恰好の遊び場でした。

「凧あげ」は人物より凧が主役のようで力強く描かれています。多分、凧のように大空に羽ばたく想いがある

たのでしょうか。「スケート」は田んぼに水を張ってできたスケート場で、下駄スケートで滑っています。見守る子どもの内お姉さんは子守をしながら小さな子を連れています。学生服のお兄さんが教えてい



No.288 スケート

## 未来につなぐ 心のハーモニー ニューイヤーコンサート

一月二十日(日)第二十四回ニューイヤーコンサートが開催されました。かわいらしい時又保育園のマーチングバンドの「さんぽ」を皮切りに、十五団体の一年間の活動の成果を三時間に渡り発表しました。



信州飯田岳風会竜丘支部青少年部の小学生三人は、大勢の観客の前に「楓橋夜泊 張継」を、小さな体で堂々と力強く吟じました。



演奏になるのでしょうか。初出演となるバンド「DARA」女性ボーカルとバイオリンの美しい音色を合わせた異色の演奏。リーダー坂さん(上川路)は「昨年夏に活動を始めて、千代の音楽祭に続き、まだ二度目のステージです。」と出演の喜びを語ってくれました。

ト合唱団は小学生キャストも加わり、寸劇を入れ情景あふれる素晴らしい演奏を披露してくれました。この他にもみな素晴らしい演奏に、会場一体となり楽しい時間を過ごしました。今回出演の各団体では新メンバーの募集を行っています。



とのお馴染み、いろいろな団体に携わり、公民館活動を盛り上げていることに改めて気付かされました。年に一度の音楽祭として平成の公民館を飾って来たこのコンサート。これからの新しい時代に、誰もが「主役」となる発表の場として益々発展し続けていくことを期待してやみません。

大雪の降る中、弁天港から時又港まで天龍舟下り！公民館を出発し道沿いから驚流峡を観ながら弁天港へ冷たい川風が吹く中、コタツ舟に乗りいざ出発。普段見慣れた風景も川面から観ると新鮮な風景です、マガモなどの餌やりを見ながら



市民大学講座のメインテーマ「竜丘再発見」参加者それぞれが出来たのではないかと思います。

## 地元を堪能 公民館委員研修

文化委員長 伊原健一郎

訂正とお詫び  
三四七号の運動会の記事の中で、聖火の出発地が桐林とありましたが、上川路の間違いでした。訂正とお詫び申し上げます。